

---

# ドアーズ～ 2度目の人生～

財前太郎

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

ドアーズ〜2度目の人生〜

### 【Nコード】

N4471A

### 【作者名】

財前太郎

### 【あらすじ】

たくさんのドアが一つの部屋につながっているように、人生も経過は違えも最終的なゴールは同じです。この作品は、その一部を紹介したものです……。

不思議と言えば不思議な話ではございますが  
ドアと部屋はつながっているように  
人生にも入り口と部屋があります。  
一つの部屋に多くのドアがあつて  
どのドアを誰が選ぶかで  
その人個人の人生が決まってしまうわけです。

この話もまた  
多くのドアの一つでございます……。

僕が、この道を選んで良かったと思つたのは、先月のことだ。  
推理小説「蜃気楼殺人事件」は、僕初的な人気が出て、ドラマ化  
されるまでになった。

お金も入った。女も出来た。今まで人目につかなかつた僕の人生  
は、一気に注目の的となつたのだ！

しかし、何かやりきれない気持ちがあつた。

(僕が望む小説は……推理ではない……感動なんだ！)

そう思うようになってしまったのだ。

推理では物足りない……欲求不満だった。

そこで、僕は決意し

「推理小説ではなくて、感動のノンフィクションが書きたい！」  
と、ある雑誌に言いつけた。

むろん、担当者は首をかしげた。が、僕の気持ちは伝わつたのだ！

「仕方がない……頼んだよ」

やった！自分の道が歩める！

しかし、世風は冷たかった。

「あいつ、推理小説家のままでいれば良かったのに……」

「道を間違えたんだ。きつと……」

しくじった！調子にのりすぎたんだ！

人気はぐんぐん下がり、連載中止どころか、他誌に連載していた推理小説もるとも、地の底へと落ちていったのだ。

金も名誉も女も、そして幸せも奪われた僕は、どうやって生きていこうか？

あつ！そうだ。確か占い師の婆さんが……

「ほう……あなたは推理小説で行くと売れるよ。うんうん……。さあ、私を信じて頑張つてごらん……。もし、失敗したなら、もう一度チャンスを上げるから……」

ハツと、その言葉を思い出した。

（よし！あの婆さんに会いに行こう！）

僕は車を走らせた。勢いよく！

自分の名誉を取り戻すために、必死だった。

（あつた！このビルの裏路地に……）

確かに、婆さんはいた。ひっそりと、静かに……。

「婆さん久しぶり。実は……」

「失敗したんだね。ケケケケ……」

婆さんの微笑みに、背筋が凍り付いたが、そのまま話を続けた。

「そう。失敗した。もう一度、チャンスをくれねえか？」

「ええすよ。じゃ、医者になつてみるかい？」

その言葉のまま、僕はいつの間にか医者になっていた。

医者だもの。お金はバンバン入るし、とにかく女が寄ってきた。でも、やっぱり何か足りなかった。

(金だけが……幸せじゃないんだ……)

またしても、やるせなさが襲った。

もう嫌だ！こんな人生は！

ふと脳裡を駆けめぐったのは、婆さんだった。

もう一度チャンスを……そうだ！婆さんに会いに行こう！

駆けようとした時、唐突に看護師の声が聞こえた。

「先生！急患です！」

「すまんが、今忙しくて……」

「推理小説家の……」

はっとした。次に読み上げたのは、紛れもない……僕の名前だ！

僕はメスを握った。顔も僕だった。まるで鏡を見ているようだ！

開胸。ダメだ、完全につぶれている！

ああ、なんて馬鹿なんだろう。僕が求めていた幸せは、金ではなかったんだ！

欲深い自分が……悪かった……。

手術室には、ただピーという心電図の音が響いた。

沈黙が、続いた。

「……尽力した結果です。先生……？あれ？」

看護師や病院中の先生が必死で探したが、僕を見つけることは出来なかったそうだ。

そして、死んでしまった僕、つまり、推理小説家の僕は、この後にしつかりと葬式が行われて、弔われたそうだ。

あ、そうそう。一つ言い忘れた。

自分の人生は自分で決めないと、僕みたいな運命をたどることになるからね。

宗教がらみの老いぼれ婆さんとかに  
心の隅に入り込まれて……。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n4471a/>

---

ドアーズ～2度目の人生～

2010年12月22日02時26分発行